結婚応援フォーラム参加者募集

■第１回　セミナー、トークパーティなど
日 10月22日㈰ 終日
場 因島
締 ９月29日㈮
■第２回　日本遺産尾道の路地の散策とトークパーティ
日 11月19日㈰ 終日
場 尾道駅周辺
締 10月27日㈮

【共通事項】
対 30～45歳の独身の人
※男性は県内在住者。
定 各回男女20人
※申込方法や場所、料金は市ホームページでご確認ください。
問 子育て支援課
（☎0848－38－9205）

消防団員募集

災害時の動員力や即時対応力という消防団の特性を発揮するには、地域の事情に精通した消防団員が必要です。
あなたの住んでいる街のために、あなたのチカラを貸してくれませんか。
18歳以上60歳未満で、市内に居住か、勤務している人であれば入団できます。最近では、女性の入団も増えています。
問 地元消防団、消防局警防課
（☎0848－55－9122）

市民農園使用者募集

対 市内在住で農地を持っていない人
募集区画　にしふじ：１区画
（西藤町1309-2）
向東松ヶ峠：２区画
（向東町5320）
使用料　年2,500円
申 農林水産課・各支所にある申込書を提出※１世帯につき１申込。
締 ８月23日㈬※抽選。
申問 農林水産課
（☎0848－38－9212）

広島県統計グラフコンクール作品募集

新聞やテレビで気になること、身の回りの出来事、興味のあることを統計グラフで表した「ポスター作品」を募集しています。
応募資格　小学生、中学生、高校生、大学生および一般
提出先　政策企画課か広島県統計課
締 ９月５日㈫必着
※詳しくは、広島県ホームページをご覧ください。
申問 広島県統計課
（☎082－513－2524）

市営住宅入居者募集（随時）

定期募集の公開抽選後に入居希望者がいない住宅は、随時募集として期限を定めて先着順で入居申込を受け付けています。
６月定期募集においても、随時募集住宅があります。詳しくは、市ホームページをご確認いただくか、お問い合わせください。
※すでに申込みがある住宅は除く。
申問 市営住宅管理センター
（☎0848－21－1266）

ひとり親家庭のための弁護士相談会

ひとり親や寡婦を取り巻くさまざまな問題に、弁護士・就業相談員・養育費専門相談員が相談に応じます。
日 ９月３日㈰ 10:00～12:15
場 因島市民会館
対 ひとり親家庭の母・父、寡婦、離婚前の人
内 法律・養育費の相談、就業相談、離婚相談など※要申込。
定 弁護士相談：３人（１人45分）、就業・養育費相談：３人
申 所定の様式により、電話かFAXで
申問 広島県ひとり親家庭等就業・自立支援センター
（☎ FAX 082－249－7149）

法務局と土地家屋調査士会による境界問題合同無料相談会

境界でお困りのときは、ご相談ください。
日 ９月10日㈰ 10:00～17:00
場 広島法務局福山支局
※要予約。
申問 境界問題相談センターひろしま
（☎082－506－1171）

中学校卒業程度認定試験（平成29年度）

日 10月26日㈭
場 広島県庁
出願期間　８月21日㈪～９月８日㈮
受験案内配布場所　広島県教育委員会生涯学習課
※詳しくは、文部科学省ホームページでご確認ください。
問 文部科学省生涯学習推進課
（☎03－5253－4111［代］）

■料金や申込方法の記載のないものは無料または申込不要です。
日 日時・期間　場 場所　対 対象　内 内容　定 定員　料 料金　持 持参物　締 締切
申 申込方法・申込先　問 問い合わせ先　☎ 電話　FAX ファクス　✉ 電子メール　HP ホームページ

カメラさんぽ Event Photo

7/8 プロ棋士が未来の秀策を育てる

日本棋院所属の鶴山敦志七段をはじめ３人の棋士が因島北認定こども園を訪れ、年長の園児20人に囲碁教室を行いました。園児達は各棋士から出された問題を見事に正解し、２チームに分かれての対局では、仲間内でアドバイスが飛び交うなど大盛況。園児同士の対局では、棋士が個別に指導するなど、楽しく交流しました。

7/15 忍者になって遊びました

県立びんご運動公園で、「忍者あそび道場」が行われ、50人の子ども忍者が「宝さがし」などの修行に挑戦しました。子ども忍者vs大人忍者の「ちゃんばら合戦」では、みんなで作戦を立て、助け合って戦いました。修行を終え、お頭からもらった「免許皆伝」を大事そうに持ち帰っていました。

7/22 箱庭的都市の夜空彩る13,000発

尾道水道の夏の風物詩、おのみち住吉花火まつり。今年も約13,000発の花火が夜空を彩りました。海岸通りには屋台も並び、浴衣姿で楽しそうな観客の姿が多く見られました。次々に上がる色とりどりの花火に、拍手と歓声が上がりました。

7/26▶27 答えはどの作品かな？

市内の美術館など７館を巡り、各館の特徴を活かした体験をする学習企画「夏休み子ども学芸員の旅2017」に、市内在住の小学４～６年生49人が参加しました。
平山郁夫美術館では、３人１組で、言葉やイラスト、ジェスチャーで表現した展示作品を当てる“作品あてっこクイズ”が行われました。子どもたちは、正解を探して真剣に作品を鑑賞していました。